

第2期 (2024年度～2028年度) コミュニティプラン

活気みなぎる人とまち
笑顔で夢ふくらむ山下校区



山下校区コミュニティ協議会

所在地：鹿児島市西千石町 15-5 (山下校区公民館 1階)
TEL/FAX：099-239-8618
E-MAIL：kr735745@bd6.so-net.ne.jp

目次

◆第2期コミュニティプラン策定にあたって	P 1
Ⅰ ふるさと「山下」について	
1 校区の様子	P 2
2 校区の施設や史跡等	P 2
3 校区の概要（人口の推移等）	P 3
Ⅱ 第1期コミュニティプランの振り返り	
1 成果と課題	P 5
2 各部会事業等の反省・評価	P 5
3 活動の記録	P 9
Ⅲ 第2期コミュニティプラン	
1 コミュニティ協議会の活動方針	
(1) 計画の期間	P 11
(2) 目標（スローガン）	P 11
(3) 運営方針	P 11
(4) 組織図	P 11
2 活動の体系表	P 12
3 事業計画内容	P 13
Ⅳ 資料	
1 「第2期コミュニティプラン」策定委員	P 19
2 校区住民の意識調査結果	P 19

第2期コミュニティプラン策定にあたって



山下校区コミュニティ協議会
会長 富山 開正

山下校区の皆様こんにちは。皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。日頃から山下校区のまちづくりにご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

第1期目（2019年度～2023年度）の策定プランにより我々は第一歩を踏み出しました。山下校区は歴史的にも素晴らしいところであるとともに、地理的にも鹿児島市の重要な地であるということを再確認し、さまざまな行事を行ってまいりました。それは、我々が共に築き上げてきた成果であります。その成果を次の段階へと引き継いで、さらに安心安全で健康な楽しいまちづくりを目指していきます。

その新たなスタートとして、第2期（2024年度～2028年度）コミュニティプラン策定をしました。

第2期目のプラン策定の作成にあたり、これまで行われたそれぞれの行事の反省点をはじめ、校区の方々から寄せられたアンケート等の色々な意見を積極的に取り入れました。そうすることがたいへん重要なことであり、校区を豊かで多様なものにしていくと思います。

このように色々なことを踏まえた上で、コミュニティプラン策定委員がひとつになって第2期の活動方針を策定しました。

これからも校区の皆様のご参加とご協力をいただき、新たな未来へ向かって一緒になって一步一步進んで行きましょう。

活気みなぎる人とまち

笑顔で夢ふくらむ山下校区

1 ふるさと「山下」について

1 校区の様子

県都鹿児島市の中央部に位置し、後背に城山、前方に桜島、鹿児島湾を臨む中心市街地である。照国町、平之町、東千石町、西千石町、加治屋町、山之口町及び千日町にわたり、南九州随一の商業地帯・繁華街となっている。

歴史的には、藩政時代以降、城下町鹿児島を中心であり、歴史に名を残す西郷隆盛をはじめ、明治維新前後に国事に奔走活躍した幾多の偉人傑士を輩出した土地として、広く世に知られている。

太平洋戦争で、空襲のために街の大部分が焼けてしまったが、戦災復興事業により、鹿児島市の中心の街として復興した。現在、山下校区は、企業・事業所・商店等のビルやマンションが立ち並び、都市型の商業地域、住宅地域となっている。

2 校区の施設や史跡等

偉人

- ・西郷 隆盛
- ・吉井 友實
- ・伊地知正治
- ・大久保利通
- ・村田 新八
- ・篠原 国幹
- ・大山 巖
- ・黒木 為禎
- ・西郷 従道
- ・井上 良馨
- ・東郷平八郎
- ・山本権兵衛
- ・田代 安定
- ・牧野 伸頭
- ・山本 英輔
- ・牛島 満
- ・黒田 清輝
- ・木村 探元

就学前教育

- ・集成幼稚園・敬愛幼稚園
- ・三育幼稚園

学校文教施設

- ・山下小学校・三育小学校
- ・甲東中学校・県立鹿児島中央高等学校

公共機関等

- ・維新ふるさと館
- ・御着屋交番
- ・地藏角交番
- ・山下消防分団
- ・中央消防分団
- ・山之口郵便局
- ・東千石郵便局
- ・加治屋町郵便局

体育・文化施設

- ・山下小学校 体育館 運動場
- ・山下校区公民館
- ・甲東中学校 体育館 運動場
- ・県立鹿児島中央 高等学校 体育館 運動場

公園・広場

- ・ザビエル公園
- ・平田公園
- ・清滝公園
- ・天文館公園
- ・甲突川左岸 緑地公園
- ・市民広場 (ライオンズ広場)
- ・城山公園広場

史跡等

- ・照国神社
- ・大中寺
- ・薩摩義士の墓
- ・ザビエル教会
- ・示現流兵法 資料館
- ・平田鞆負像
- ・維新ふるさととの道
- ・ザビエル 滞甕記念碑
- ・大久保利道 銅像

交通・道路

- ・国道3号、10号、225号
- ・県道20号、21号、24号
- ・鹿児島市電

3 校区の概要(人口の推移等)

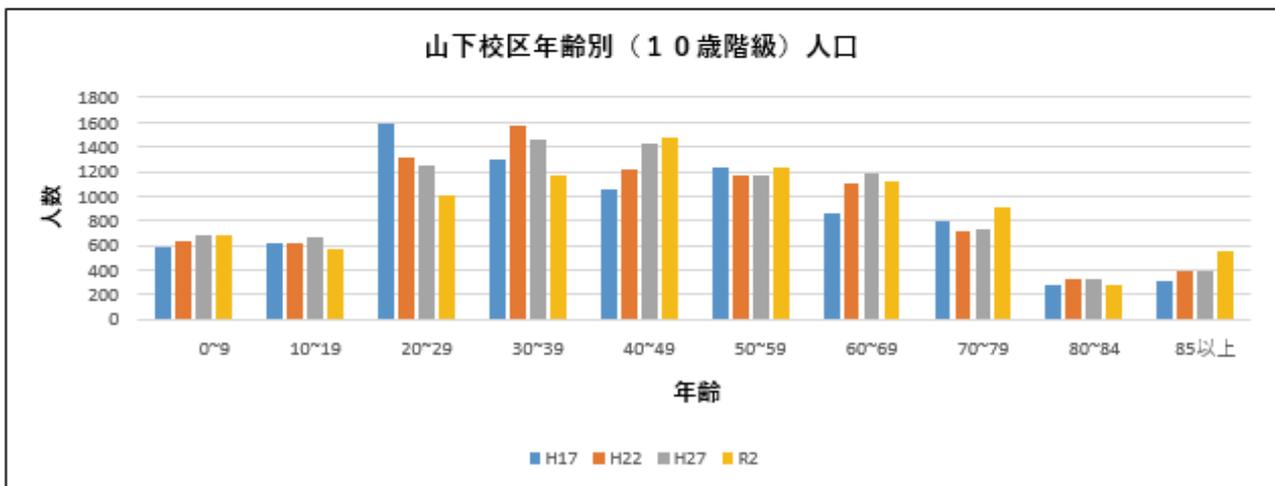
ア 世帯数・男女別人口推移(国勢調査より)

年度	世帯数	人口		
		総数	男	女
平成17年	4,918	8,620	3,586	5,034
平成22年	5,745	9,688	4,069	5,619
平成27年	5,986	9,952	4,285	5,667
令和2年	6,786	10,846	4,738	6,111

イ 小学校区 年齢別(10歳階級)人口(平成17・22・27、令和2年度国勢調査)

※各年度10月1日現在

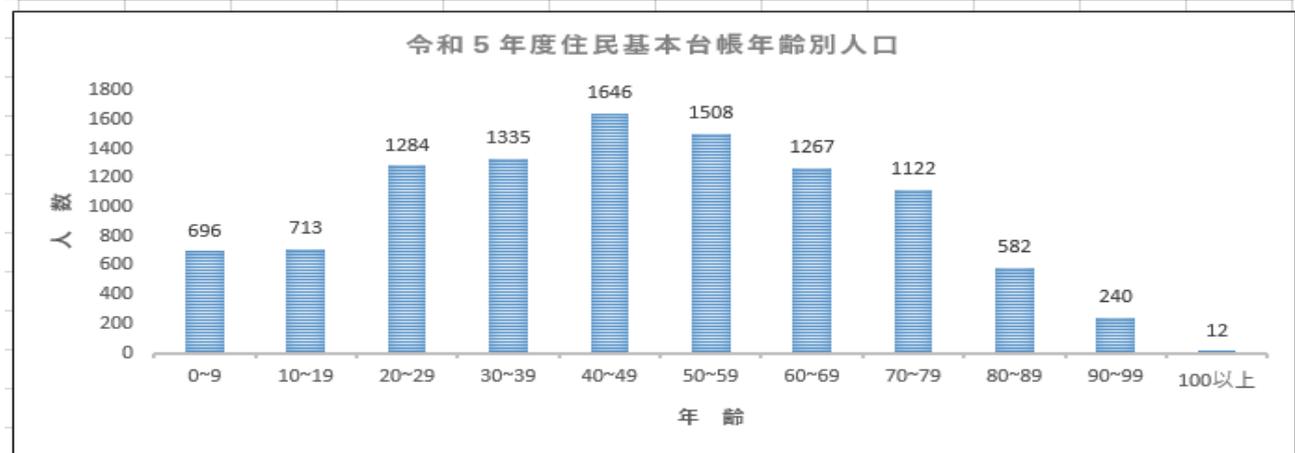
年齢	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~84	85以上
H17	585	618	1589	1305	1049	1237	863	789	277	304
H22	627	622	1311	1576	1222	1172	1095	709	332	398
H27	678	666	1252	1454	1431	1164	1185	729	319	387
R2	689	563	1007	1167	1481	1238	1118	911	280	555



ウ 令和5年度 住民基本台帳年齢別(10歳階級)人口

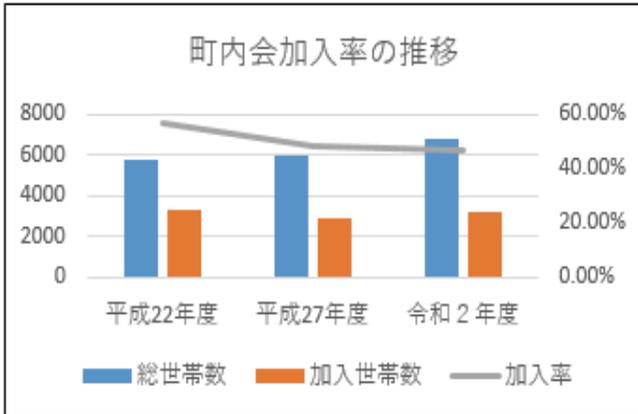
令和6年1月1日現在

年齢	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100以上
人数	696	713	1284	1335	1646	1508	1267	1122	582	240	12



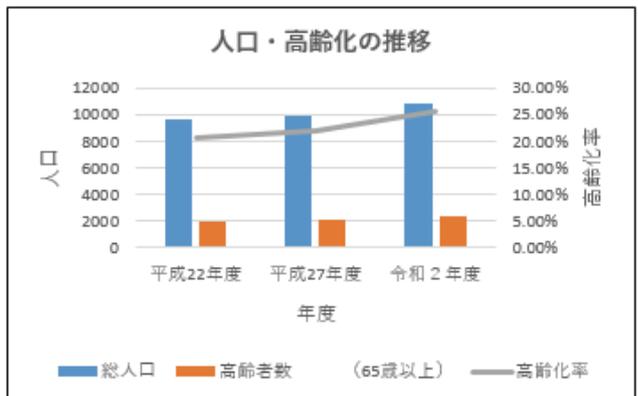
エ 町内会加入率の推移

年度	総世帯数	加入世帯数	加入率
平成22年度	5745	3264	56.80%
平成27年度	5986	2886	48.20%
令和2年度	6786	3173	46.80%



オ 人口・高齢化率の推移

年度	総人口	高齢者数 (65歳以上)	高齢化率
平成22年度	9688	1889	20.80%
平成27年度	9952	2022	21.80%
令和2年度	10849	2312	25.70%



県立鹿児島中央高等学校



かごしま国際交流センター



維新ふるさと館



鹿児島市立山下小学校



鹿児島市立甲東中学校



山下校区公民館

II 第1期コミュニティプランの振り返り

1 成果と課題

【成果】

- 協議会においては、年7回の常任委員会をコロナ禍においてもできるだけ開催し、各部会が企画する事業の企画・運営等を協議するとともに、各部会の活動の状況把握に努めた。
- 校区総合文化祭やおはら祭りへの参加は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施できない期間があったが、再開を機に、内容や実施形態等について、協議会の実態に応じた見直しが見直しができた。
- 青少年育成に関する事業の実施にあたって、実行委員会を設けたり、部会の充実を図ったりすることで、情報収集・意見交換が活発になり、各部会との協力態勢が整えられた。
- 成人学級・女性学級・家庭教育学級は、それぞれの学級の目的に応じた講座開設や活動を定期的に実施し、校区民のコミュニケーションづくりに寄与できた。
- 安心安全に関する事業が、協議会の安心安全部の事業として実施できつつある。また、部員の安心安全への意識が高まってきた。

【課題】

- 規模の大きな事業実施においては、各部会の協力態勢を整えるために運営委員会を開催したが、うまく機能しなかった。各部会や構成団体も含めた事業実施組織を工夫する必要がある。
- 校区総合文化祭やおはら祭りの参加者を増やすために、公的機関や国際交流センターとの連携強化や早期の広報に努める必要がある。
- 青少年育成の事業への参加者増や活動の活性化を図るために、学校と地域の連携強化や広報活動の充実に努める必要がある。
- 成人学級・女性学級・家庭教育学級への参加者が固定化の傾向にある。若手の参加を促すためにも、SNSでの連絡態勢を整えたり、SNSの勉強会を開催したりする。
- 安心安全に関する各種事業への参加者を増やす手立てとして、事業の案内を早目に出すことにより周知を図る。

2 各部会事業等の反省・評価

★ 実施した際の評価(コロナ禍で実施できなかった場合は評価しない)

評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
1	薩摩義士頌徳慰霊祭への参加・協力	まちづくり 推進部会	—	—	薩摩義士顕彰会・平之町の行事 ※ コミュニティ協議会からは、各町内会長が出席。
2	偉人祭への参加・協力		—	—	加治屋町町内会の行事 ※ コミュニティ協議会からは、各町内会長が出席。
3	祇園祭(おぎおんさあ)への参加		—	—	7町内会の内、いくつかの町の代表者が参加している。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
4	おはら祭への参加	まちづくり 推進部会	B	継続	町内会で参加しているが、令和5年度は、「山下校区コミュニティ協議会」で参加した。
5	校区総合文化祭		A	継続	コロナウィルス感染症拡大の影響で中止をせざる得ない時期があったが、文化交流の重要な事業である。
6	校区美化活動		C	廃止	市のクリーン作戦に合わせて実施する予定であったが、計画できなかった。
7	広報紙の発行		B	継続	年1回発行。情報提供ができた。新設した掲示板に掲示し、校区民への周知を図っている。
8	まちづくり研修会		A	継続	文化祭のための話し合いを行った。令和5年度からは、「おはら祭」の話し合いも加わった。
9	青少年健全育成大会	青少年健全 育成部会	A	継続	地域や家庭、学校と共に協力し青少年健全育成にふさわしい健全育成大会ができた。
10	日曜早朝城山登山		B	継続	コロナウィルス感染症拡大の影響で、集団での活動に制限があり登山ができなかった。5年度は状況も変わってきたが、天候にも恵まれなかった。
11	中学生と語る会		A	継続	中学生の学校での学び、生徒会活動、部活動、校外学習、研修会などの様子がうかがえた。中学生としての自覚がみえた。
12	あいご講座		A	継続	「地域の子は地域で育てる」ことなどについて学びを深めることができた。
13	校区スポーツフェスタ		C	継続	コロナウィルス感染症拡大によりできなかった年もあった。スポーツフェスタの代わりとして、「親子で作るリース飾り」などを開催した。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
14	校区親善球技大会	青少年健全 育成部会	C	継続	コロナウイルス感染症拡大でできなかった。スポーツフェスタと球技大会は内容を含めて改善する。
15	見守り・声かけ運動への支援	福祉部会	C	—	各町内会で行っている。
16	子育てサロンへの支援		A	継続	令和5年度5月から、子育てサロンを10回実施することができた。
17	福祉マップ作り		C	—	各町内会で作成する。
18	花いっぱい運動		C	廃止	協力要請があれば手伝う計画であったが、依頼が無く実施できなかった。
19	健康教室		C	継続	コロナ禍で活動はできなかったが、令和5年度は、代わりに、「校区親睦会」として、カラオケ大会や健康・スポーツ教室などを行った。スポーツ教室は、社会教育部会へ移行する。
20	スポーツ教室		C	移行	
21	成人学級の開設	社会教育 部会	B	継続	コロナ禍で中止になることが多かったが、継続して開設する。
22	女性学級の開設		A	継続	計画的に活動ができている。開設を継続する。
23	家庭教育学級への支援		C	継続	支援する場がなかった。連携を図り、機会があれば協力していく。
24	山下の森コンサート		A	継続	児童・保護者・地域住民が一緒に楽しめるコンサートづくりを考えていく。
25	各種会議・研修会への参加		A	継続	中央公民館や市開催の会議・研修会には、協議会として代表が参加した。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継続 廃止	成果・改善・感想等 (継続理由、廃止理由、改善点等)
26	中央地域文化祭への参加	社会教育 部会	A	継続	女性学級の活動報告の場になっている。令和6年度からは、校区文化祭の日程変更で、舞台発表も可能となる。
27	人権問題研修会		A	継続	成人学級・女性学級の中で実施している。
28	安心安全ネットワーク会議	安心安全 部会	A	継続	年間を通して安心安全部会として必要で、学校とも連携をとっている。今後も部会として開催したい。
29	校区暴力追放大会		A	継続	コロナ禍で市内三署の関係で中止していたが、令和5年11月に実施した。
30	防犯パトロール		B	継続	町内ごとに定期的に巡回している。今後は、コミュニティ協議会として、同日・同時に町内ごとに開催できるとよい。
31	防災研修会		C	継続	町内ごとに開催している状況。今後は、コミュニティ協議会全体として取り組んでいく。
32	交通安全教室		B	継続	町内ごとに開催している状況。今後は、コミュニティ協議会全体として取り組んでいく。
33	危険箇所点検		A	継続	毎年開催して、「安全マップ」を児童家庭に配布している。今後も充実させたい。



〈校区コミュニティ協議会専用掲示板〉
 地域の方々より「掲示板は見ましたよ」
 のお電話をいただいている。

3 活動の記録

まちづくり推進



偉人祭



偉人祭



おはら祭り



阿久根研修視察



文化祭「しきなみ短歌」



まちづくり推進部会



文化祭「アジア留学生の楽器演奏」



文化祭「甲東中音楽部」



文化祭会場



安心安全



暴力追放大会



校区環境診断報告会



安心安全部会

社会教育



女性学級〈折り紙〉



成人学級〈そば打ち〉



健康スポーツの日〈モルック〉



社会教育部会



社会学級閉校式



家庭教育学級終了式



社会学級合同閉講式〈講話〉

青少年育成



校区あいご講座



スポーツフェスタ 大縄跳び 綱引き



せごどのの遠行西郷誕生地出発



日曜早朝城山登山（元旦初日の出）



日曜早朝城山登山（城山清掃）



日曜早朝城山登山（城山で体操）



青少年育成部部会



青少年健全育成大会（講演）



青少年健全育成大会（実行委員会）

福祉部会



高齢者健康教室



高齢者交流親睦会



校区親睦会（カラオケ大会）



子育てサロン



子育てサロン



子育てサロン



高齢者教室



福祉部部会

III 第2期コミュニティプラン

1 コミュニティ協議会の活動方針

(1) 計画の期間 2024年度(令和6年度)～2028年度(令和10年度)

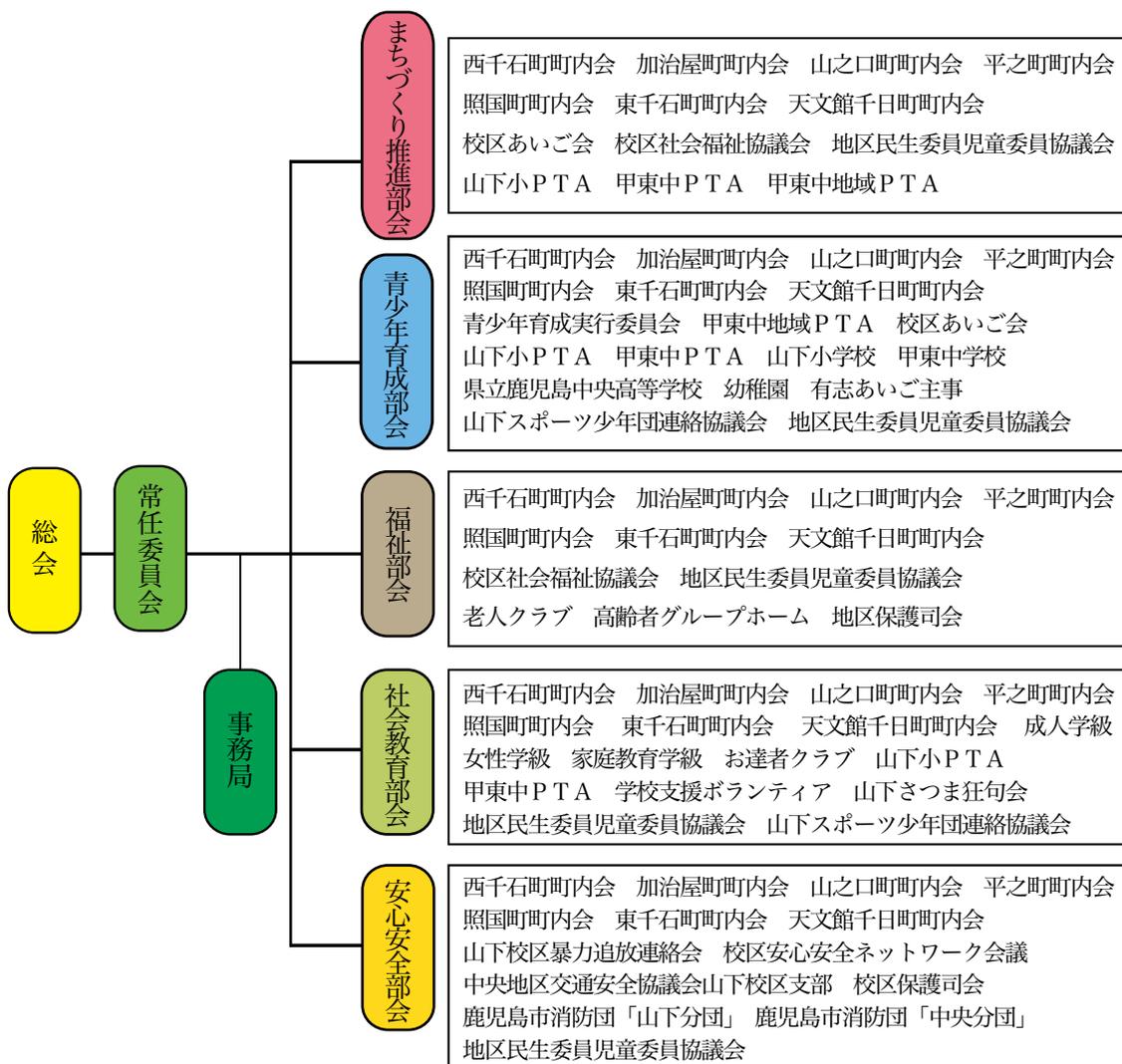
(2) 目 標
(スローガン)

活気みなぎる人とまち 笑顔で夢ふくらむ山下校区

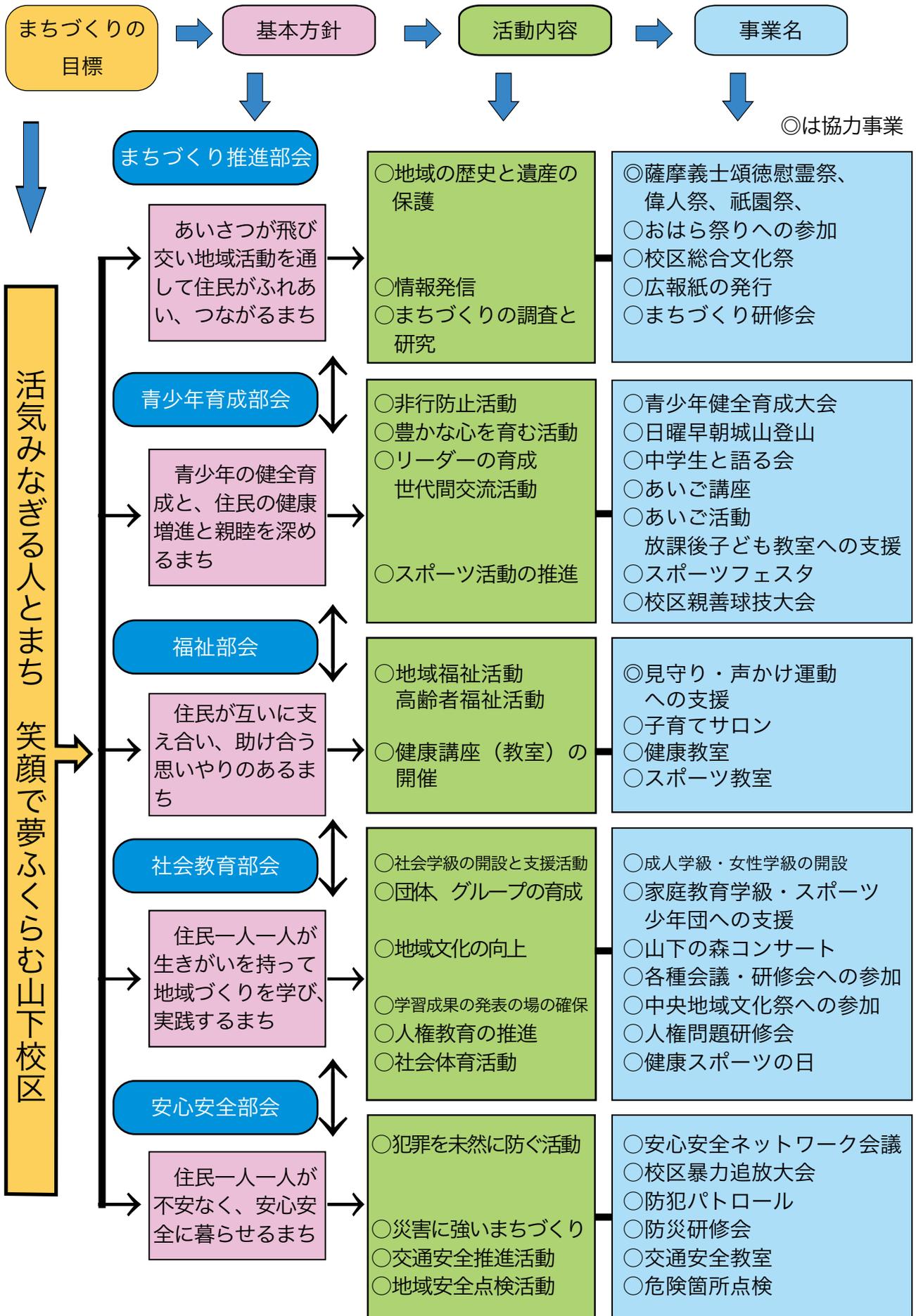
(3) 運営方針

- ① 「山下校区は一つなり」を合言葉に、住民みんなでまちづくりに取り組む機運を高め、親和と協力のもと、地域全体のまちづくりを進める。
- ② 子供たちをはじめ、次世代を担う青年層との意見交換を行うなど、広く住民の声に耳を傾け、その声を協議会活動や運営に生かすとともに、広報紙を発行するなど情報発信に努める。
- ③ 校区公民館を住民がふれあい交流する場、地域を担う人づくりの場として積極的に活用し、新たな参加者の掘り起こしなどを通して、住民同士の絆がさらに深まるように努める。
- ④ 校区のまちづくりの指針となる地域コミュニティプランを、住民の声を反映して作成し、地域課題の解決や地域資源の活用に取り組む。
- ⑤ 鹿児島市をはじめ、関係行政機関等との連携を図ってまちづくりを進めるとともに、地域課題やその解決についての情報共有を図る。

(4) 組織図



2 活動の体系表



3 事業計画内容

山下校区コミュニティプラン

番号	実施部会等	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
1	まちづくり 推進部会	あいさつ が飛び交い 地域活動と おして住 民がふれあ い、つな がるまち	地域の歴史 と遺産の保 護	薩摩義士頌徳慰霊祭 への参加・協力	平之町町内会が主となっ て行っている頌徳慰霊祭に、協 議会として参加・協力する。
2				偉人祭への参加・協 力	加治屋町町内会が主となっ て行っている偉人祭に、協議 会として参加・協力する。
3				祇園祭（おぎおんさ あ）への参加	祇園祭に「子ども神輿」が 参加できるようにあいご会に 協力する。
4				おはら祭への参加	コミュニティ協議会で「連」 を作って、おはら祭に参加す る。
5				校区総合文化祭	社会学級や自主学習グルー プ、学校等の学習活動の成果 を発表する。
6			情報発信	広報紙の発行	コミュニティ協議会の活動 結果や計画及び運営等につい て校区住民へ発信する。
7			まちづくり の調査と研 究	まちづくり研修会	まち歩きをして史跡を訪ね たり、郷土の先人についての 話を聞いたりして、地域につ いての理解を深める。
8	青少年育成 部会	青少年の 健全育成と 住民の健康 増進と親睦 を深めるま ち	非行防止 活動	青少年健全育成大会	校区住民が、心豊かなたく ましい青少年の育成について の取組を学び合う。
9			豊かな心を 育む活動	日曜早朝城山登山	城山の山頂広場まで登り、 自主清掃やラジオ体操をした り、校歌や季節の歌を歌った りする。
10			リーダーの 育成・世代 間交流活動	中学生と語る会	山下小を卒業した中学生と 地域の大人たちが、将来の夢 や学校生活について語り合 う。

山下校区コミュニティプラン

事業効果	実施 時期	事業実施年間評価					事業 種別	備 考
		’ 24	’ 25	’ 26	’ 27	’ 28		
木曽川などの治水工事に尽くした薩摩義士のことを学び、「ふるさと山下」への理解と郷土愛を育むことができる。	5月						継続	平之町町内会との連携
山下校区や加治屋町出身の偉人のことを学び、「ふるさと山下」への理解と郷土愛を育むことができる。	8月						継続	加治屋町町内会との連携
祇園祭に参加することで、地域の活性化が図られるとともに、子供たちに愛郷心を育むことができる。	7月						継続	あいご会との連携
町の垣根を越えて、祭りに参加することで、郷土の文化を継承するとともに、校区民の親睦が図られる。	11月						継続	
学習成果を発表したり、参観したりすることで、校区の文化の向上と豊かな心が育つふるさとづくりに寄与できる。	2月						継続	
協議会の運営や活動等について、校区住民の理解が深まり、積極的な参加が増えることが期待できる。	年 1回						継続	
校区内の貴重な歴史遺産や先人についての理解を深め、「ふるさと山下」のよさを再発見するとともに、郷土への愛着を深めることができる。	11月						継続	
校区住民が、心豊かなたくましい青少年の育成への取組を学び合うことによって、青少年育成の意識高揚につながる。	1月						継続	
あいご会、学校、家庭が連携し、全員参加型の日曜早朝登山を行うことで、楽しい語らいができるとともに、健康増進を図り、自然を守ることができる。	毎月						継続	あいご会との連携
中学生活への期待や希望をもたせるとともに、充実した中学生活を送ろうとする意欲を高める機会となる。	12月						継続	あいご会との連携

山下校区コミュニティプラン

番号	実施部会等	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
1 1	青少年育成部会	青少年の健全育成と住民の健康増進と親睦を深めるまち	リーダーの育成・世代間交流活動	あいご講座	あいご会の運営のあり方について、関係者の理解を深めるための講座を設定する。
1 2				あいご活動、放課後子ども教室への支援	あいご会や放課後子ども教室の活動が充実するように支援する。
1 3			スポーツ活動の推進	校区スポーツフェスタ	校区住民の親睦やふれあいを目的に、気軽に参加できるスポーツフェスタを開催する。
1 4				校区親善球技大会	子供たちは、ソフトボールとドッジボールに分かれて競技を行う。大人は、午後からソフトバレーを行う。
1 5	福祉部会	住民が互いに支え合い、助け合う思いやりのあるまち	地域福祉活動・高齢者福祉活動	見守り・声かけ運動への支援	校区内の高齢者へ親しく声かけしたり、一人暮らしの高齢者へは隣近所や民生委員、町内会役員等で組織する見守り隊が訪問活動を展開したりする。
1 6				子育てサロン	育児の悩みを相談したり、情報交換を行ったりするなかで、親どうしが知り合う機会をつくる。
1 7			健康講座（教室）の開催	健康教室	校区住民が気軽に参加して体を動かしたり簡単なゲームをしたりして、気分転換を図れる「健康教室」を開催する。
1 8	社会教育部会	住民一人一人が生きがいを持ち、地域づくりを学び、実践するまち	社会学級の開設と支援活動	成人学級の開設	社会生活に必要な教養や資質の向上を図れるような講座等を計画する。
1 9				女性学級の開設	社会生活に必要な教養や資質の向上を図れるような講座等を計画する。
2 0			団体・グループの育成	家庭教育学級・スポーツ少年団への支援	小中学校の家庭教育学級やスポーツ少年団活動を支援し、家庭の教育力向上を図る。

山下校区コミュニティプラン

事業効果	実施 時期	事業実施年間評価					事業 種別	備 考
		’ 24	’ 25	’ 26	’ 27	’ 28		
あいご会活動の充実を図るとともに、地域の青少年健全育成活動に役立てることができる。	5月						継続	あいご会との連携
あいご会や放課後子ども教室の活動が充実することによって、青少年の健全育成が図れる。	通年						新規	
中・高・大学生を含む校区住民のふれあいと交流が図られ、絆が強くなるとともに、活気あふれる地域づくりが進められる。	10月						継続	
子どもたちどうしの親睦を深めるとともに、体力づくりができる。また、球技の実施をとおして、青少年の健全育成につながることを期待できる。	7月						継続	あいご会との連携
声かけや訪問活動を行うことにより、高齢者の安否確認や困りごとへの対応ができる。また、高齢者が少しでも快適に生活できるように支援できる。	毎月						継続	民児協や町内会との連携
子育てを、地域ぐるみで支えあうことができる。	随時						継続	民児協との連携
健康体操などの実践化・日常化が図られ、心身の健康維持に寄与できる。	随時						新規	
社会生活上の課題について学習することで、知識・技能を習得するとともに、その成果がまちづくりに生かされることが期待できる。	通年						継続	
社会生活上の課題について学習することで、知識・技能を習得し、成果がまちづくりに生かすことができる。	通年						継続	
家庭教育の充実やスポーツ少年団活動の充実が図られることで、地域の子育ての充実や活力につながる。	通年						継続	小中学校 PTA・少年団 との連携

山下校区コミュニティプラン

番号	実施部会等	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
21	社会教育 部会	住民一人 一人が生き がいを持 ち、地域づ くりを学 び、実践す るまち	地域文化の 向上	山下の森コンサート	子供たちをはじめとする校 区民が、素晴らしい音楽に触 れ、楽しいひと時を過ごす。
22				各種会議・研修会へ の参加	中央公民館等の各種会議や 研修会に、協議会として参加 する。
23			学習成果の 発表の場の 確保	中央地域文化祭への 参加	中央地域文化祭に、協議会 の構成団体や学級生が出展も しくは出演する。
24			人権教育の 推進	人権問題研修会	偏見や差別をなくし、明るい 思いやりのあるまちづくりを 進めるために、人権問題に関 する学習の機会を設ける。
25			社会体育 活動	健康スポーツの日	毎月第4日曜日10:30 ～12:00に、スポーツ推 進員の指導のもと、ニュース スポーツを楽しむ。
26	安心安全 部会	住民一人 一人が不安 なく、安心 安全に暮ら せるまち	犯罪を未然 に防ぐ活動	安心安全ネットワー ク会議	校区住民の安心安全な生活 を維持していくために、関係 団体が集まって、現状と課題 について話し合うとともに、 改善を図る。
27				校区暴力追放大会	校区住民の参加のもと、暴 力追放大会を開催し、防犯意 識の向上を図る。
28				防犯パトロール	青パトをはじめとした、地 域防犯活動の機能化を促進す る。
29			災害に強い まちづくり	防災研修会	関係団体と連携して防災研 修会を開催し、自然災害に対 する住民の心得を学び合う。
30			交通安全推 進活動	交通安全教室	交通安全協会山下校区支部 の総会を協議会として積極的 に支援し、校区内の交通安全 のあり方について話し合う。
31		地域安全点 検活動	危険箇所点検	地域の危険箇所を把握し、 危険箇所の改善や地域住民へ の情報提供を行う。	

山下校区コミュニティプラン

事業効果	実施 時期	事業実施年間評価					事業 種別	備 考
		’ 24	’ 25	’ 26	’ 27	’ 28		
校区住民が、豊かな心を育むとともに、地域の活性化を図ることが期待できる。							継続	
各種会議や研修会に参加したり、研修視察をしたりすることで、家庭生活の向上や地域の活性化が図れる。	常時						継続	
構成団体や社会学級生の日頃の学習の成果を発表することで、学習意欲を喚起することができる。	1月						継続	
校区住民の人権意識が高まり、差別のない地域社会づくりに貢献できる。							継続	
様々な世代の校区民が、定期的にニュースポーツを楽しむことをとおして、健康の維持・増進を図るとともに、世代間交流を図ることができる。	毎月						新規	スポーツ推進員との連携
校区住民の安心安全な生活を維持するとともに、安心安全に対する意識を高めることができる。	年 1回						継続	
様々な暴力をさせない、しない運動の充実が図られ、思いやりのあるまちづくりにつながる。	11月						継続	
地域の防犯体制が充実し、活動の実践化が図られるとともに、安心安全なまちづくりにつながる。	随時						継続	青パトの活用
校区住民の危機意識・防災意識の向上が図られ、非常の際の減災につながる。	7月						継続	
校区住民が交通安全についての理解を深め、交通ルールを守って安心安全な暮らしをしようという意識を高める。	5月						継続	交通安全協会山下支部との連携
校区住民の安心安全への意識が高まり、安心安全なまちづくりに寄与する。	7月						継続	県・市・警察との連携

IV 資料

1 「第2期コミュニティプラン」策定委員

- ◆ 常任委員会を策定委員会とした。

策定委員長	富山 開正	(コミュニティ協議会長)
策定委員	前田 正幸	(コミュニティ協議会副会長・福祉部会部会長)
	關 直三郎	(コミュニティ協議会副会長・安心安全部会部会長)
	本房 博臣	(まちづくり推進部会部会長)
	西村 光行	(青少年育成部会部会長)
	岩田 英明	(社会教育部会部会長)
	田中 洋子	(まちづくり推進部会副部会長)
	山崎 英二	(福祉部会副部会長)
	下假屋 誠	(山下小学校長)
	緒方 善子	(事務局：書記)
	上村 玲子	(事務局：会計)

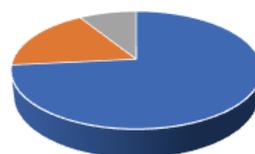
2 校区住民の意識調査結果

アンケート調査（意識調査）にご協力いただきありがとうございました。

この結果を、「第2期コミュニティプラン」の策定やコミュニティ協議会の運営に生かしてまいります。

問1 あなたは「山下校区コミュニティ協議会」をご存じですか。

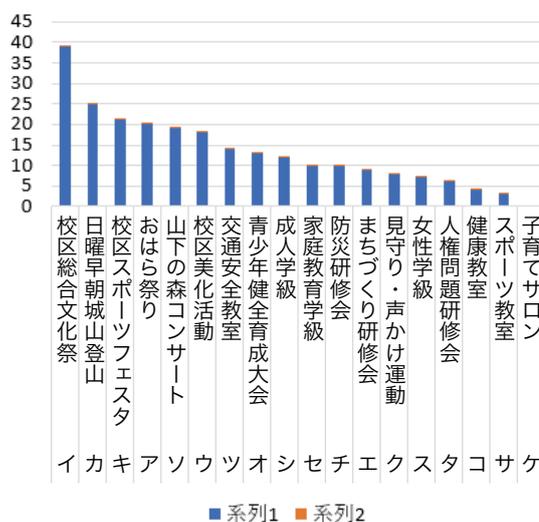
回答事項	回答者数	%
ア 知っている。	58	73.4%
イ 知っているが、何をしているかよくわからない	14	17.7%
ウ 知らない。	7	8.9%
エ その他		0.0%
計	79	



- 知っている。
- 知っているが、何をしているかよくわからない。
- 知らない。

問2 あなたはコミュニティ協議会の事業に参加したことがありますか。

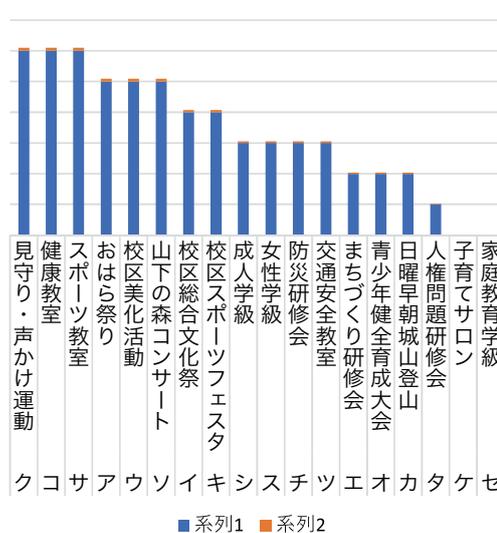
回答事項	回答者数	%
イ 校区総合文化祭	39	16.4%
カ 日曜早朝城山登山	25	10.5%
キ 校区スポーツフェスタ	21	8.8%
ア おはら祭り	20	8.4%
ソ 山下の森コンサート	19	8.0%
ウ 校区美化活動	18	7.6%
ツ 交通安全教室	14	5.9%
オ 青少年健全育成大会	13	5.5%
シ 成人学級	12	5.0%
セ 家庭教育学級	10	4.2%
チ 防災研修会	10	4.2%
エ まちづくり研修会	9	3.8%
ク 見守り・声かけ運動	8	3.4%
ス 女性学級	7	2.8%
タ 人権問題研修会	6	2.5%
コ 健康教室	4	1.7%
サ スポーツ教室	3	1.3%
ケ 子育てサロン	0	0.0%
計	238	



■ 系列1 ■ 系列2

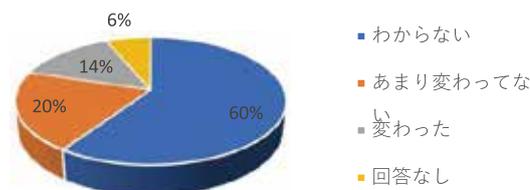
問3 【問2】に挙げた事業で、まだ参加したことはないが今後参加してみたい事業。(複数回答可)

回答事項	回答者数	%
ク 見守り・声かけ運動		
コ 健康教室	6	10.0%
サ スポーツ教室	6	10.0%
ア おはら祭り	6	10.0%
ウ 校区美化活動	5	8.3%
ソ 山下の森コンサート	5	8.3%
イ 校区総合文化祭	5	8.3%
キ 校区スポーツフェスタ	4	6.7%
シ 成人学級	4	6.7%
ス 女性学級	3	5.0%
チ 防災研修会	3	5.0%
ツ 交通安全教室	3	5.0%
エ まちづくり研修会	3	5.0%
オ 青少年健全育成大会	2	3.3%
カ 日曜早朝城山登山	2	3.3%
タ 人権問題研修会	2	3.3%
ケ 子育てサロン	1	1.7%
セ 家庭教育学級	0	0.0%
計	60	



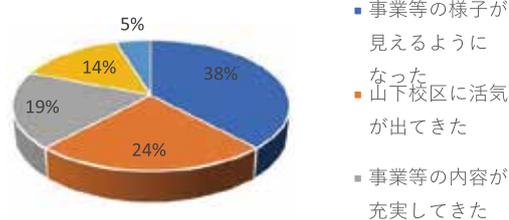
問4 コミュニティ協議会ができて、山下校区が変わったと思いますか。

回答事項	回答者数	%
ウ わからない		
イ あまり変わってない	47	59.5%
ア 変わった	16	20.3%
エ 回答なし	11	13.9%
計	79	



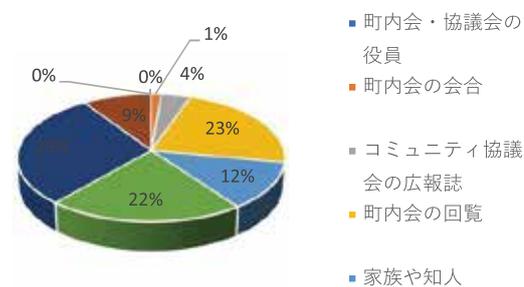
*「ア」と答えた方にお尋ねします。変わってきたと思われること

回答事項	回答者数	%
ウ 事業等の様子が見えるようになった		
ア 山下校区に活気が出てきた	8	38.1%
イ 事業等の内容が充実してきた	5	23.8%
エ 事業等の参加者が増えた	4	19.0%
オ その他	3	14.3%
計	21	



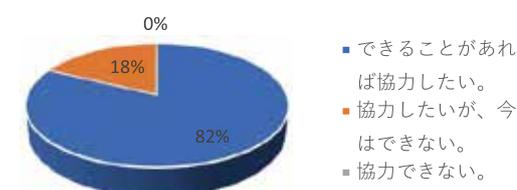
問6 「コミュニティ協議会」の活動の情報は、何で得ていますか。

回答事項	回答者数	%
カ 町内会・協議会の役員		
ウ 町内会の会合	31	24.4%
ア コミュニティ協議会の広報誌	29	22.8%
エ 町内会の回覧	27	21.3%
キ 家族や知人	18	14.2%
オ 町内会の掲示板	10	7.9%
イ コミュニティ協議会のフェイスブック	6	4.7%
ク その他	3	2.4%
計	127	



問7 あなたは、「まちづくり」に協力したいと思いますか。

回答事項	回答者数	%
ア できることがあれば協力したい。		
イ 協力したいが、今はできない。	60	82.2%
ウ 協力できない。	13	17.8%
計	73	



問5 目標達成に向けてどんな事業や取組があればよいと思いますか。

- 終活や相続などの講座
- 講座・研修等
- 文化祭やスポーツフェスタが充実し拡大できればよいのでは。
- 地域が希薄にならない（人を知る）つながりのある町
- 世代間の交流（あやとり・おはじき・お手玉）などの昔遊び講座
- 家族介護講座
- 子供たちが何か工作したり、昔の遊びなど
- 老若男女楽しめる企画
- 取組ごとばかり多くしても、今していることが中途半端な仕上がりなら元の木阿弥だと思います。今取り組んでいることを完璧にしてほしいです。
- 子供たちと高齢者との交流など異世代間交流
- 親子で参加できる行事や活動ができるものがあるといいです。
- 地域にある事業主の方々との交流があるといいですね。
- 高齢者への参加促進
- 校区でスポーツフェスタ、子供・お年寄りとの運動会、交流、商品を出して盛り上げてほしい。
- 山下校区から交通事故を無くす。自分の身は自分で守る。交通ルールを守る。
- 子ども食堂、青少年育成事業。
- 多種多様な参加ができるような事業があれば、人と人とのつながりがよりできるのではないかと思います。
- 現役世代が参加しやすい取組。
- 参加してもらうように声かけ。
- スポーツ講座（ゴルフなど）の種類を増やしたり、若者に人気なものにする。金融講座なども、若者に興味のある無料講座などを行っていく。
- 気軽に行きたいときに行ける場作り。子供たちの遊び場（将棋やボードゲーム）の開放。

問8 「コミュニティ協議会」に望むことがあればお書きください。

- まちづくりに協力したい。
- 人と人とのつながりが大事だと思います。いつも町内会の役員の方々にはお世話になります。
- 特になし。
- 企業体としてイベント等に参画できる機会が少ないのですが、活動内容・イベント等についての情報を常時ご提供頂けましたら幸甚です。
- 特になし。
- 校区外から通わせてもらっているのでも、コミュニティが出来てからの校区の変化等は比較が出来ず、わからない回答となりました。子供たちの安心安全の為に尽力いただき感謝しています。
- 一部の方たちのみの会に思えてなりません。もっと広く、山下校区内にお住みになる方ならいろんな活動に参加できるように希望します。コミュニティ協議会の意義。
- 透明性、広報・・・ もっと無関心の人々に何をしているか知って頂くことだと思います。まだまだ知らない人が多い。
- コロナの時代でなかなか集まるのが難しくなっていますが、活動内容の呼びかけを町内の回覧で回していただけるとありがたいです。
- 校区内の人々のつながりが広がるような取組。情報提供・広報。
- 特になし。
- 協議会委員の活動のもっと活気に満ちた姿がほしいですね。
- 活動報告・地域の活動を知りたい。
- 情報発信を強化、SNSの活用、メンバーの若返り、若年層の取組。
- もっとアピールし、アピールできることを増やしていけばよいと思います。
- みえるコミュニティ協議会であるべきだと思う。もっとオープンにしてほしい。
- 年配の方々へ知らない方が多いため、声かけが必要ではないでしょうか。